

名前

漢字の広場① 三字以上の熟語の構成

めあて 三字以上の熟語の構成を理解したり、由来に关心をもつたりしよう。

一次の熟語の意味を考えましょう。

少人数 「少」() ない→「人数」()

保健室 「保健」() を→「室」()

身体測定 「身体」() の→「測定」()

二 教科書四六ページを読んで、三字と四字の熟語の構成をまとめましょう。

例

一字の語が並ぶ

五 熟語には、長い言葉を省略して短くしたものがあります。次の言葉の省略した形を()に書きましょう。

一字と二字の語
が結びつく

高等学校

→()

入学試験

→()

図画工作

→()

重要文化財

→()

農業協同組合

→()

国民体育大会

→()

六

教科書四八ページ「五年生で学んだ漢字

三 熟語の切れ目に／を入れて線で結び、構成について考えましょう。

文を書いたりしましょう。意味の分からぬ言葉は辞書で調べてみましょう。

- ① 郵便物
- ② 世界遺産
- ③ 下水処理場
- ④ 蒸気機関車
- ⑤ 特別天然記念物

名前 _____

雪は新しいエネルギー

めあて 地球温暖化について知り、雪がエネルギーとしてどのように利用できるか考えよう。

一 教科書四九～五九ページを音読しましよう。音読したら□に丸をつけましよう。

二 教科書五〇～五九ページを読み、形式段落（一マス下がっているところ）に分けましょう。

ヒント

全部で二八段落あります。

三 「地球温暖化」「異常気象」「再生可能エネルギー」について知っていることを書きましよう。

四 ①～④段落（教科書五〇～五一ページ八行目）を読み、世界各地で起きている地球温暖化についてまとめましょう。

① 地球温暖化の大きな原因は、石油や（ ）、（ ）、（ ）などの（ ）を大量に使用し、二酸化炭素などの（ ）を排出していく」とある。

② （ ）には限りがあり、このまま使い続けると、いずれは使いきってしまうと予想する人たちがいる。

③ （ ）にたよらない社会をどのように作りだしていけばよいか。

④ 化石燃料に代わる新しいエネルギーとして注目されているのが、（ ）である。代表的なものに、太陽光（ソーラー）、（ ）、（ ）、（ ）などがある。これらのエネルギーは、地球温暖化の原因となる（ ）を排出せず、自然の中でもくり返し生成されるので、環境に悪いえいきょうをあたえない。

五 形式段落⑥（教科書五一ページ一行目）に「雪はエネルギーだ。」とありますが、雪がどのようにエネルギーとして利用できると思いますか。考えを書きましょう。⑤段落（教科書五一ページ十行目）の「ガラスのピラミッド」をヒントに考えましょう。

☆ 説明文を読むときは、「問い合わせ」（へきしかけ）に逆田しおりゅう。問い合わせに対する返答がむじに書かれているのか、どんな具体例を挙げて説明しているのかを考えながら読みましょう。

雪は新しいエネルギー

めあて 雪エネルギーの利用について、具体的な事例とその利点をまとめ、筆者の主張と事例の関係を考えよう。

一 形式段落⑤（教科書五〇ページ十行目）から⑯（教科書五五ページ十行目）を音読しあいよう。
音読したら□に丸をつけましょ。

二 筆者があげている雪のエネルギー利用について、事例とその利点をまとめましょ。

事例	場所	使い方	利点
1	・北海道むかわ町穂別 北海道沼田町、美唄市、（ ）町 ・（ ）県		
2	・ガラスのピラミッド ・国際メディアセンター		

ヒント 教科書にのつている図やグラフも参考にしましょ。

三 筆者が、雪をエネルギーとして利用することを主張している理由を「化石燃料」「再生可能エネルギー」の特徴を比べながら考えましょ。

四 雪のエネルギー利用によって、筆者は、雪国の暮らしにどのような変化の可能性を考えていませんか。また、どんな課題があるといつていますか。

変化の可能性

- ・（ ）が削減されるだけでなく、（ ）の削減にもつながる。

雪は新しいエネルギー

めあて　筆者が取り上げている事例の順序を考え、なぜその順序にしたのか、筆者の意図を考えよ。

一　筆者は、雪のエネルギー利用の可能性を述べる時、昔の氷室→現代の野菜貯蔵庫→ガラスのピラミッド→洞爺湖サミット→新千歳空港の順で取り上げています。ここに筆者のどんな意図があるでしょうか。次の二つの書き出しに続けてまとめてましょう。

「身边で想像しやすい例から順に取り上げることで、

といつ意図。

古くからの利用のされ方から順に取り上げることで、

といつ意図。

一　筆者は、「雪の保存」という課題」や「今後の課題」などにもふれています。

(1) 今後の課題について、形式段落²⁶（教科書五八ページの五行田）をもとにまとめましょう。

①雪の利用が（ ）に限られていること。

②雪の冷熱エネルギーがほかの（ ）エネルギーに似て、エネルギーとして利用するときの（ ）が低いこと。

③雪の（ ）は容積がかさばるため、新たに導入するときに（ ）がかかること。

(2) 課題を示すことは、筆者の主張にどんな効果をあたえているでしょう。次の書き出しに続けて考えてみましょう。

「雪のエネルギー利用のよい点だけでなく、課題を示すことだ、

という効果。

★ 説明文では、取上げる事例の内容や順序に筆者の意図が述べられています。読み手に向かっていついかいるのかを考えながら読みましょう。

名前

雪は新しいエネルギー

めあて 新しいエネルギーに対する筆者の考え方や説明の仕方について、自分の考えをまとめるよ。一 筆者の考え方や説明の仕方について、これまでの学習を振り返りながら、自分の考えをまとめましょう。

二 教科書六二一ページの「言葉を学ぼう」にある「四字の漢字で表す言葉」を使って、短文を書きましよう。ただし、主語を必ず書きましよう。

三 教科書六二一ページの「言葉を増やそう」にあるような「外来語を組み合わせた言葉」を、身の回りからさがして書きましよう。

ふり返ろう

四 教科書六二三一ページ「……が大事」を音読しましよう。音読できたら□に丸をつけましよう。



- ・雪のエネルギーの利用例や、その長所と短所などをとりあえながら、筆者が言いたいことをつかむことができましたか。
- ・筆者の説明の仕方特徴について、考えることができましたか。

(◎・○・△)